

第75回全国植樹祭

歴史的な一日



来場者へ手を振られる天皇陛下

5月25日(日)、秩父ミューズパークを主会場として第75回全国植樹祭が開催されました。埼玉県での開催は昭和34年(1959年)以来、実に66年ぶりとなり、秩父地域の歴史に残る日となりました。

当日は、天皇陛下の御臨席を仰

ぎ、国や県関係者含む約4,600人が県内外から参加しました。

「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」の大会テーマをもとに、豊かな森林資源を活かし、次世代へとつなげていくことを共有する象徴的な演出が大会全体を通じて繰り広げられました。

招待者の皆さんは会場到着後、まず植樹会場へと移動し、48種類の苗木を1人1本植樹していただきました。その後式典開始までの間、「おもてなし広場」において森林・林業や観光のPR、物産販売ブース等をお楽しみいただき、広場内のステージでは「浦山の獅子舞」をはじめとする秩父地域の郷土芸能が披露されました。

いよいよ式典が始まると、最初の「プロローグ」では、まず全国各地の招待者の皆様へ向けて秩父市長による歓迎のあいさつがあり、続くアトラクションでは、観光大使でもある林家たい平師匠が登場。森と人々の暮らしの語り



プロローグの様子

林家たい平師匠

ともに、映像やダンス、さらに秩父屋台囃子の演奏などを交えた表現が演じられました。

「記念式典」では、天皇陛下が御到着になり、開会のことば、三旗掲揚・国歌独唱、大会会長である衆議院議長ならびに埼玉県知事による主催者あいさつを経て、天皇陛下からおことばを賜りました。続いて、緑化功労者等への表彰、苗木の贈呈の後には、植樹祭の象



◀天皇陛下によるお手植え

▼天皇陛下によるおことば



秩父市長による歓迎のあいさつ



大野知事による主催者あいさつ



天皇陛下によるお手播き



代表者記念植樹での秩父市長、市議会議長

市報7月号では、あらためて第75回全国植樹祭当日の詳しい内容を特集にて掲載します。

☎ 22-2816
問 全国植樹祭準備室

最後のエピソードでは、小鹿野町長による感謝のあいさつ、ナビゲーターによる式典の振り返りの後、全出演者が再度登場となり、感動的なフィナーレに送られた拍手喝采の中、式典は大団円を迎えました。

その後、たい平師匠と同じくナビゲーターである朝日奈央さんが登場し、本県が誇る日本で最初の林学博士「本多静六氏」を紹介。往時、博士が抱いた森への思いと、現代に生きる私たちが森林を未来へつないでいく決意が融合し、感動的な表現が繰り広げられました。大会宣言、そして次期開催県である愛媛県へ木製地球儀の引き渡しを行う「リレーセレモニー」が埼玉県・愛媛県両知事の手で行われると、記念式典は閉会となり、参加者全員がお見送りする中、天皇陛下が御出発されました。

徹的な場面でもある、天皇陛下の「お手植え・お手播き」が緑の少年団の介添えのもと執り行われました。また、天皇陛下の2本目のお手植えにあわせて、市長、市議会議長含む特別招待者の皆様による「代表者記念植樹」も行われました。



埼玉県知事・愛媛県知事によるリレーセレモニー



おもてなし広場の様子

おもてなしステージで披露された「浦山の獅子舞」



招待者による記念植樹(植樹会場にて)

特別公開

第75回全国植樹祭が秩父ミュージックパークで開催されることを記念して、市街地で秩父祭と川瀬祭の笠鉦・屋台が特別公開されました。秩父祭と川瀬祭それぞれで曳き廻される笠鉦・屋台がほぼそろった状態で同日公開されることは初めての取り組みです。また、“中近笠鉦”と“下郷笠鉦”は3層の笠を付けた姿で公開されました。



下郷笠鉦組み立ての様子 (一部抜粋)



- ① 笠を標木に差し込む
- ② 人力で標木を起す
- ③ 屋型の組み立て
- ④ 飾り花の取り付け



中近笠鉦は収蔵庫で組み立てを行い、秩父神社境内まで曳行されました。

電線の架設により、普段は3層の笠を付けずに曳行されている中近と下郷の2基の笠鉦。今回は特別公開では中近笠鉦は8年ぶりに、下郷笠鉦は13年ぶりに花笠が付いた姿となりました。中近笠鉦は5月23日から収蔵庫にて組み立て、下郷笠鉦は21日から秩父神社境内にて組み立てられ、その様子を見ることができました。

3層の笠を付けて公開

秩父祭・川瀬祭 笠鉾・屋台



秩父祭について御聴取される天皇陛下



パブリックビューイング会場



秩父祭について御聴取される天皇陛下

天皇陛下によるお手植え・お手
播きをはじめとする式典の中では、
つを申し上げました。
美しい森林を未来の子どもたちへ
つなげていきます。」と、あいさ
つを申し上げました。
また、荒川最上流の自治体の首長と
して、『活樹』の意識を持って、
森林資源の循環利用を進めていく
とともに、先人が守り育ててきた

秩父市長 清野 和彦

5月25日、秩父ミューズパーク
を主会場として「第75回全国植樹
祭」が開催されました。
「人・森・川 つなげ未来へ 彩
の国」をテーマに開催された今大
会には、天皇陛下の御臨席を仰
ぎ、県内外から関係者を含め、約
4,600人の方々が参加されま
した。

全国植樹祭開催！



秩父に新風。

このよう子どもたちの活躍を
見ていると、埼玉県の多様な森林
を次世代へとつなげ、輝く未来を
実現することが、私たちに課せら
れた使命であると再認識しました。
また、植樹祭の開催を記念して、
秩父祭と川瀬祭の笠鉾・屋台の特
別公開を行いました。中近笠鉾と
下郷笠鉾については、3層の笠を
付けた状態で飾り置きをしていた
できました。

秩父祭と川瀬祭の笠鉾・屋台が
ほぼそろった状態で同日に飾り置
きをしたのは、初めてのことです
本町・中町通り付近では、出
店エリアや植樹祭のパブリック
ビューイング会場が設けられ、多
くの方に秩父グルメをご堪能いた
だきながら、植樹祭の様子をご覧
いただくことができました。

植樹祭ならびに市記念事業の関
係者の皆さまには、大会開催、そ
して笠鉾・屋台の特別公開に対し
まして、
多大なる
ご尽力を
賜りまし
たことを、
心より感
謝申し上げ
ます。

秩父祭と川瀬祭の笠鉾・屋台が
ほぼそろった状態で同日に飾り置
きをしたのは、初めてのことです
本町・中町通り付近では、出
店エリアや植樹祭のパブリック
ビューイング会場が設けられ、多
くの方に秩父グルメをご堪能いた
だきながら、植樹祭の様子をご覧
いただくことができました。

植樹祭ならびに市記念事業の関
係者の皆さまには、大会開催、そ
して笠鉾・屋台の特別公開に対し
まして、
多大なる
ご尽力を
賜りまし
たことを、
心より感
謝申し上げ
ます。

